

高井戸小学校 11月25日18:30～学校運営協議会第7回議事録

○会長挨拶

御多用の中、御出席ありがとうございます。CS ではコロナを心配している。落ち着き始めているが、油断すると、また感染が増える可能性もある。油断せずに、注意して見ていくことが必要である。学校では対応が大変だとおもいますが、頑張してほしい。

○行政説明

校長：高井戸小の児童数増についての方向性について、区から説明がある。

学校整備担当部長：児童数増に伴う校舎の増築について。行政計画に高井戸小の増築計画が案として入っている。本日、資料を配付し説明し、丁寧に進めていきたい。

学校整備課長：総合計画実行計画案に、学校の増改築案として高井戸小が入っている。杉並区の人口が増え、児童数が増えており部屋の兼用も難しい状況。増築を検討している。学級園のところへの増築を考えている。1階に学童クラブを入れる。2階は兼用。3階は図工、理科室の予定。移動した場所を普通教室に改修する。オープンスペースで対応してきたところを改善していく。来年度から設計予定。令和5年度から建設予定。6年度の夏休みまでに工事を終える予定。

児童青少年課長：児童館の機能について（学童クラブなど）を小学校に移していく。高井戸学童クラブ定員132名の定員として使用予定。一般来館機能も移行していく。放課後の子供たちの居場所作りをしていく。調整は、学校支援本部や学校と進めていく。

高野：増築に当たり、非常階段は工事期間中どうなるのか？→具体的なところはこれから。設計はこれから。無いと困るので対応していく。

小林：今の校舎とくつつく形なのか？いくつの教室になるのか。→壁があるので。4教室分増える。

奥田：元々の設計人数と受け入れ人数が違っていると思う。なぜ、今なのか？→校舎改築時は、児童数が減っていた。推定児童数から13学級であった。建築が終わり、人口が増えた。読みが難しいところがあった。この後も増加が見込まれるので計画した。人口の推定については反省点もある。当時は計算しながらやってきたところもある。計画の段階で、地域の要望を聞いていきたい。

会長：現状分析と予想分析をしっかりとしてほしい。

小林：4クラス増えることで、今後足りるのか。→0歳含めて、推計をだす数字を含めて、教室を増やしている予定。推計を出している部署の情報も含め、集計している。

青木：立て替え委員会では、3クラス以上増えないと説明された。統計的には先10年は増えないと言われた。住民は工事に敏感。騒音等の対応をお願いしたい。校庭がせまいがどうするのか。

奥田：運動器具がなくなる。

小林：菜園は？なくなるのか。

→今のところ、厳しい状況。屋上に作ることは難しい。校庭の面積に関係することは否めない。

小林：3階建てでないことはできるのか。→日陰の問題もある。

高野：浴風会は屋上に家庭菜園がある。

青木：近隣住民から、ほこりの問題もある。→作った施設が使わないことにならないように学校とも話していく。

会長：今日が初めての説明になるので、質問も多い。今後のスケジュールを教えてください。

→計画案を掲載したという報告。12月3日までパブリックコメント。終わったら、報告。説明のタイミングは相談していきたい。

会長：情報提供が大切である。→学童クラブの半分の機能が入る予定。

蘆塚：放課後も、学校を開放するという考え方、子供をみる大人やセキュリティについても分けて考え行くということか。

→学校の教育活動に支障の無い範囲で使う。責任の区分は分かれる。区内で始まっているところもあるので、始

まる前にクリアにしていく。

会長：親御さんは心配する。情報提供をお願いしたい。

○音楽科の学習状況について

コロナ禍の音楽科の授業内容について（歌唱なし、リコーダー・鍵盤ハーモニカなし）、鑑賞や和音探しなどを実施。タブレットの活用。緊急事態宣言を開けてからは、マスク着用で吹く楽器は10分程度。今年度の音楽会は、12月に合唱のみで実施予定。音楽朝会も11月から実施している。高井戸小合唱団の活動について（54名が参加）体育館で練習。発表会への参加予定について。

○図画工作科の学習状況について

図工の授業についてのアンケート結果から分かったことについて。実態から考えた授業方針について、好きを持続させるために主体性を促す（内発的な動機付け）、ユニバーサルデザインの導入、実際の授業の様子など

○理科の学習状況について

2名で理科を指導している。問題解決型の学習（6年）（3年）の実際の様子について。子供の発見を大切にしている。コロナ禍でも工夫して教材を作り、体験を大切にしている。提示物を通して児童が問題作りをできるようにしている。子供たちの気づきを大切にしている。

青木：コロナ禍で活動ができなかったことが多かったとおもうが、再開されて活動の仕方は変わった？→音楽はペアで近距離では歌うことができない、マスクをしているので口の形や開け方まで指導できない。感染症対策など悩みながら行っている。今までのようにはできないと思う。

図工では「造形遊び」がなかなかコロナ禍でできない。他の題材で活用して行っている。

青木：コロナ禍でできないことが、回復していくのか、どうなのか。どのように感じているのか。→音楽は、吹く楽器の技能の定着が難しい。図工は手元の活動は集中して行っているが、ダイナミックな活動ができていない。

青木：理科は自分で発見すると好奇心が出てくる。うまくいかない子は挫折しないようにフォローしていくことが難しいと思う。→活動を大切にしながら、時間を区切り、補助しながら行っている。実際に成功する体験ができるようにしている。

○校長から

保護者には、増築について昨日通知を出している。児童館とのやりとりで昨日通知を出した。今後、毎年、国の上限が35人学級となっている。3年間は26学級を維持しなければならない。CSで話をして保護者に話をするようにしたい。

6年生が移動教室にいった。下膳も各自が行い時間がかかった。子供達は喜んでいて。4年生は、定員があり1クラスずつ立川防災館に社会科見学を実施した。基本2クラスで実施予定。合唱発表会は各保護者2名ずつ。来賓は案内のみ。卒業式については、今後お知らせする形になると思う。

○関係団体からの連絡

会長：財団が毎年4年生をよんで工場見学をして、作品を提出してもらい、優秀な作品を表彰していたが、コロナで過去2年間でできていない。ビデオを見てもらっている。表彰はTeamsで実施した。今年は説明室で表彰式ができることになった。37名までは入れる。12月12日（日）14：30～1時間で高井戸小の児童は表彰式を行う予定。1家族2名も参加OKにする。

次回の日程

12月22日（水）18：30～